

## 【第3号議案】

# 平成23年度事業計画書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

本年度は、公益法人制度の改正に伴い、公益社団法人への移行手続きを行いつつ、これに伴い必要となる定款はじめ各種機構上の改善を進めていく年になる。また新会長を迎え、日本工学会の使命や事業方針の見直しや再構築へのスタートの年でもある。

特に、日本工学会各公益事業の広範な展開を進め、その内容や成果を広く公開していく必要がある。そのためにも本年は特に日本工学会ウェブサイトの充実・拡大に力を入れていきたい。また、2015年に予定される世界技術者会議(WEC2015)の実行組織の構築や財政計画なども重要な課題である。

### ① 各学会、協会の連絡、協力及びその総合活動（定款第4条1号）

#### ・事務研究委員会(事務研)の開催

正会員の事務局代表者の連絡・協力の場として、事務研究委員会を8月を除く毎月1回、計11回開催する。新公益法人制度における学協会運営上の課題はじめ、共通するテーマに基づく調査や学習および情報交換などを活発に行い、会員学協会のほか、工学分野の組織運営に有益な情報提供を行う。

#### ・日本工学会年報 平成23年度版50号の発行

発行年月日 平成23年11月末日 発行部数 250部

#### ・技術者能力開発事業の継続実施

CPD-WG部会が中心になって、昨年度から開発および試行を行っている、CPDポータルシステムの運用を6月から開始する。各学協会のCPDプログラムが自由に検索できるようになり、利用の増大が期待される。もう1つの作業部会であるECE-WGでは、第1弾として産業技術総合研究所と提携してナノテク技術者育成研修で実施したECEプログラムを、その成果を活かし、本年は第2弾として物質・材料研究機構との提携実施をめざす。

#### ・科学技術人材育成コンソーシアムの活動

科学技術人材育成コンソーシアムは、昨年度5月と1月に公開シンポジウムを開催し、参加会員団体は内外23団体に広がった。本年は、中期計画の2年目として、専用ウェブサイトを構築し、青少年の科学技術教育に関する全国の実践事例を収集しつつ広く紹介していく。また更に連携の拡大を目指す。

#### ・医工連携推進事業

我が国の医療技術開発研究と医療産業育成を促進させるために、工学工業分野と医療分野との融合である医工連携を実現させる必要があり、本会においても昨年からの検討を開始し、本年は新たに「医療テクノロジー研究会」を設置し、日本における先端的医療技術開発の問題とその解決策に関して取り組んでいく。日本医学会との連携や、12の工学、医学系の学会が参加している「日本医工ものづくりコモンズ」と連携して研究活動や啓発活動を進めていく。

#### ・技術倫理面での貢献

昨年からの「技術倫理協議会」の事務局を日本工学会が引き継ぎ、シンポジウムや研究会等を開催してきたが、本年もシンポジウムの開催や協議会を行っていくが、特に会員学協会の拡大を図っていく。

#### ・功労賞表彰の継続

一昨年度から再開した功労賞の表彰を継続実施する。23年度総会において3名の表彰を行う。

② 我が国工学関係の学会、協会を代表して、内外の諸機関、団体及び個人との連携(定款第4条2号)

・国際活動の推進

2015年開催が正式決定された、WEC2015(世界工学会議)の開催に向けて、設置された準備委員会は、本年7月をめぐりに発起人会および国内組織委員会を立ち上げを推進し、実行委員会に業務を引き継ぎ、実施計画をもとに各部門を含む実行体制や財政計画の策定を行ない、また協力・支援の輪を広げていく。

また、本会石井委員長が担当するWFEOの「災害リスクマネジメント分科会」の国際シンポジウムを日本建築学会の協力を得て9月頃に開催する。

・他分野の学協会の連合体との連携

日本学術会議、日本医学会、日本農学会などと共同で、社会への貢献の活動を行う。分野を同じくする別形態の日本工学アカデミーとは、工学分野全体に関する催事や企画について相互協力を行っていく。

・学術著作権協会の活動への参画

一般社団法人学術著作権協会の活動に、理工系学協会代表の理事として引き続き参画する。

③ 建議、請願、公益事業の協賛(定款第4条3号)

・「工学の振興」、「大学における理学・理工のかい離」、「工学系進学減少への対策」などについて、関係団体や大学機関と共同して、検討会やシンポジウムを通じて提言を行う。

④ 調査、研究(定款第4条4号)

・青少年の理科・工学離れ防止対策および教育支援の実態・課題調査はじめ、工学全体の課題について、研究会や委員会において実態や意向などについて調査・研究を行い、資料集やウェブサイト等で発表していく。

⑤ 講演会、講習会及び座談会の開催(定款第4条5号)

・日本工学会講演会

日時：平成23年4月22日(金)15時30分～17時00分

場所：建築会館ホール 参加予定100人 講演1題

・科学技術人材育成シンポジウム

日時：平成23年 秋予定

場所：日本学術会議 講堂予定 参加予定150人 講演、事例、討論

・CPD講演会

CPD協議会が主体で開催する、成果の発表や実践事例報告を中心とした公開の講演会

日時：平成23年6月予定

場所：未定 参加予定100人 講演、事例、討論

・医療テクノロジーシンポジウム

医療テクノロジー研究会が企画主体、日本医学会の協力を得て開催

日時：平成23年7月1日(金)13:00～

場所：慶応義塾大学 三田キャンパスホール

・災害リスクマネジメント国際シンポジウム

日時：平成23年9月予定

場所：会場未定、参加予定100人 講演、研究・活動報告、パネル討論

主催：日本工学会、世界工学団体連盟(WFEO) 予定参加国数：15カ国

・技術倫理講演会

日時：平成23年11月予定

場所：未定 参加予定150人 講演、事例、討論

⑥ その他目的を達成するために必要な事業(定款第4条6号)

- ・公益法人改革への対応

23年度中の移行申請を目指し、定款変更や新会計基準の導入など、公益社団法人への移行準備を行う。

- ・ウェブサイトの充実

各事業分野の活動紹介や、投稿参加型のウェブサイトの構築、ページ内容の拡大と充実など広報能力の向上を図り、広く社会一般への情報提供や啓発の活動に生かしていく。

以上